

みんなラボ病院プロジェクト

—みんなラボ研究員チームによる大学病院の使いやすさ調査研究—
 茂呂雄二・原田悦子（人間系・教授），葛岡英明（シス情・教授）

みんなラボ研究員チームとは…

筑波大学みんなラボ（みんなの使いやすさラボ）登録をしている会員の方々による研究チームであり、つくば市の様々な施設・道具・制度等の使いやすさを調査・研究し、提言を行います。

使いやすい筑波大学附属病院を考える…

病院は私たちの健康を維持し、豊かな生活を送るためにきわめて重要な施設です。しかし、病院に足を運んでみるとさまざまな使い勝手の悪さを感じることがあります。

そこで…

みんなラボ研究員チームが、病院の立場と病院を使うユーザー側の立場の間に立って病院を調査し、使いやすい病院についての提言を行いました。



みんなラボ研究員チームの調査活動…

①データの収集方法

観察

病院見学ツアーを行いました。大学病院職員から施設についての説明を受け記録をとりました。

インタビュー

病院見学ツアーや研究会において、研究員チームから大学病院職員に対してインタビューを行いました。

情報収集

大学新聞、パンフレット、案内書、インターネットなどから情報を集めました。



データの分類

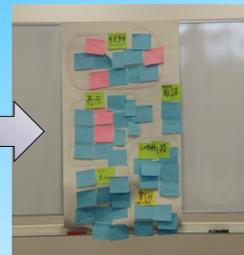
KJ法による情報分類

①3種類のカード（青、ピンク、黄色）にそれぞれ一枚につき、データの一つ記入しました。

青=見学で見たこと
 ピンク=こうなったらよいと思うこと
 黄色=これは問題だと思われること

②数多くのカードの中から、似通ったものをグループにまとめました。そして、それぞれのグループに見出しを付けました。

問題点の明確化



③調査の結果と病院への提言

報告会

研究員チームのメンバー全員がそれぞれ分担して、資料を作り、病院の問題点と提言についての発表を行いました。



みんなラボ研究員チームから病院への提言の例

- ① 病院スタッフと外部協力者が一緒にQC(品質管理)活動をする。(例：学生コンペ)
- ② ユーザー(患者)への広報をしっかりと行う。
- ③ 待合室にテーブルやプランター、飾り付け、図書室を設けて、待ち時間を楽しく有効に使えるように工夫する。(例：サロン風の待合所)



問題点の具体例

- 食堂の問題
 - ・メニューの改善（例：週一回のバイキング）
 - ・爪楊枝が裸で出ていて不衛生
- 血圧計の荷物置き場の問題
 - ・血圧計を使う際、荷物を置く場所がない



問題のあった場所

車両、診察室、医事課、通路、ホール、食堂

問題の種類

混雑、環境、情報の流れ、整理整頓